



「地域との関わりを通して、ともに学び合い、高め合う児童の育成」を目指しています。

あいはら

2026. 1. 30
町田市立相原小学校
校長 百田 明弘
学校便り NO. 10



☆「梅は寒^{かんく}を経て清^{せいこう}香を発す」☆

副校長 仙石 真也

「1月は、いく。2月は、にげる。3月は、さる。」という言葉があるように、先日お正月を迎えたばかりだと思っていたら、あっという間に「1月」が終わってしまいました。早いもので、明日からは「2月」になります。

さて、去る1月20日は「大寒」でした。「大寒」から立春までが1年中で最も寒い時期であると言われている通り、「大寒」を迎えたと同時に、日本列島は大寒波に見舞われました。北海道や東北地方、日本海側の広い地域から、連日大雪のニュースが流れてきています。今年、町田にも雪が積もるのでしょうか？

暖くなるまでにはまだまだ時間がかかりそうですが、少しずつ日が長くなり、晴れた日の陽だまりには春の気配を感じます。早いところでは、梅の花も咲き始めています。

「どこまでも 枯木と見せて 梅の花」 これは、俳人である正岡子規さんの俳句です。

梅の木は落葉樹なので、冬になると葉がすっかり落ちて枝だけになります。ですから、寒い時期の梅の木は、まるで枯木のように見え、この先この木には花が咲くのだろうか心配になります。

ところが、開花時期が来れば、枯木のような見た目から一転して、一輪、一輪と次々に花を咲かせていきます。

外見は枯木のように見えていても、内側には寒さに負けない生命力が秘められており、開花に向けての準備を絶やさずにいることで、最終的に美しい花を咲かせることができるのでしょう。まさに、「梅は寒^{かんく}を経て清^{せいこう}香を発す」です。

どんなに厳しい時期にも、蓄えるべきものを蓄え、準備するべきことを準備しながら自分の出番を待つ…。梅がもつ忍耐力とたくましさには見習うべきところがありますね。

「3学期」は今の学年のまとめをする学期であると同時に、新しい学年に向けて準備をするための大事な「0（ゼロ）学期」であると子供たちに話すことがあります。1年生にとっての3学期は、2年生の0学期、2年生にとっての3学期は、3年生の0学期…他学年も同様の気持ちで過ごすようにと。

新しい学年に向けての準備と言っても、学習内容を先取りして予習するとか、特別なことをする必要はありません。今すべきことを、一生懸命にすればいいし、これまでにできていないことがあれば、それができるように頑張ればいいのです。

今頑張っていることが、今の学年の間に結果として表れなかったとしても、きっとこの先、どこかで花開く時が来ます。

梅は一斉に咲く桜と違い、時には1本の梅の木が、ひと月近くかけて満開へと向かうそうです。人の苦労も瞬時に報われるわけではありません。じっくりと時間をかけ、静かに花開いていくのです。

寒さに負けず、開花のためのエネルギーを溜め込んでいる梅のように、子供たちには4月から始まる新しい学校生活に向けて、黙々と、そしてコツコツと、「まとめ」と「準備」をしながら過ごしてほしいと思います。